

# 集落支援員だより

## 第50号

発行者  
東和地域集落支援員  
発行日  
令和7年5月26日(月)  
連絡先 66-2490



カラー版閲覧  
二本松市  
ウェブサイト  
(スマートフォン用)

## 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために —防災教室開催—

### 木幡 境田区

4月20日(日)境田区(区長：嶋原進)では、福島県地域防災サポーターで防災士の佐藤一成さんから、ハザードマップの見方や集落内の危険個所の確認を行い、家族で共有しておく避難計画であるマイ避難シートを作成しました。

参加者からは、「共助の大切さを実感しました」「普段のおしゃべりの中でも意識することの大切さを学びました」等の感想があり、防災意識がさらに高まった教室となりました。

(取材：飯塚)

### 太田 深田・布四区

4月27日(日)深田区(区長：菅野誠治)・布四区(区長：菅野幸夫)では、福島県地域防災サポーターで防災士の本田巖さんを講師に、自宅や集落内のリスクに合わせて、どのような避難行動が必要かマイ避難シートを作成しました。

また、平常時に非常持ち出し品の準備が重要で「備えた分だけ憂いなし」と話がありました。  
参加者からは、「自宅周りの片付け、水路の点検、木の葉や枯木の片付けをする」等の感想がありました。

(取材：飯塚)



深田・布四区防災教室の様子



境田区防災教室の様子



境田サロンでは、昨年5月に講師を招き「ゴミ分別について」学びました。今年度は、私たちが出したゴミが、実際どんな風に処理され、資源物として再利用されたり、埋め立てられたりするのかを見学したいとの希望があり、今回の視察に至りました。

具体的な分別処理を目の当たりにし、改めて一人一人の意識の大切さを学ばせていただきました。分別のルールが守られないと火災など大事故にもつながりかねないことや、人の手によって資源物に



### 境田サロン

代表 嶋原真弓さん



老いも若きも安心して暮らせる  
区にしていきたい  
もとみやクリーンセンター視察・話し合い  
—いきいきサロン 境田サロン—

混入している異物を取り除く作業が行われるなど、「ゴミステーションに出すだけではわからないことも知ることが出来ました。」  
「ゴミ」から話題を広げ、地域に暮らす皆が心地よく過ごせる境田区にするべく、これを機会にさらに交流を深めていきたいと思っております。



境田サロン 視察参加者のみなさま

## こはたマルシェ 開催

こはたマルシェ共同代表  
安部章匡さん（木幡）



第13回こはたマルシェを4月29日(火)に隠津島神社参宿所で開催しました。当日は、季節外れの寒さと強風が吹く中ではありましたが、大変多くのお客さんがお越しになり、こはたマルシェを楽しんでくれました。

こはたマルシェは、木幡・東和のお店や企業または当地に所縁がある市内外のお店約40店舗が、隠津島神社参宿所に大集合する名物イベントとなってきました。年に3回、4月7月11月に開催しており、次回第14回は7月13日(日)を予定しております。どうぞお楽しみに。(取材：引地)



## まちの話題



## 山餐サウンズ2025 開催



ふくしま農家の夢ワイン(株)社長 本多一美さん

山餐サウンズは、ふくしま農家の夢ワインで2022年からスタートしました。

山のご馳走のワインはもちろん、会場を囲む山々の景色や空気、そこに響き渡る音楽を楽しむ「地餐地唱」の野外ライブイベントは今年で4回目となります。

このイベントを通じて、日本ワインへの関心を深めるとともに、地域や生産者、ワイナリーとの交流の場としていきたいです。(取材：引地)



## しゅうらくみちきれい したい 集落道綺麗に仕隊

戸沢十二区「集落道綺麗に仕隊」  
隊長 山中 勉さん



山中勉隊長

平成29年8月に県北建設事務所、二本松市の三者で「うつくしまの道・サポート制度」合意書締結式をおこないました。県道の草刈り等を一齐に集まって作業をするのが難しくなったため、各人の都合がよい時に、常に草丈8cm以下に管理するよう取り決めて清掃美化活動を実践しています。

区の結束力が強くなり、「自分たちの集落の道は自分たちで管理する」という意識に変化し積極的に取り組み、個人の責任感も芽ばえてきています。(取材：引地)



集落道綺麗に仕隊 隊員のみなさま